

特定非営利活動法人

# さわやか北摂つうしん

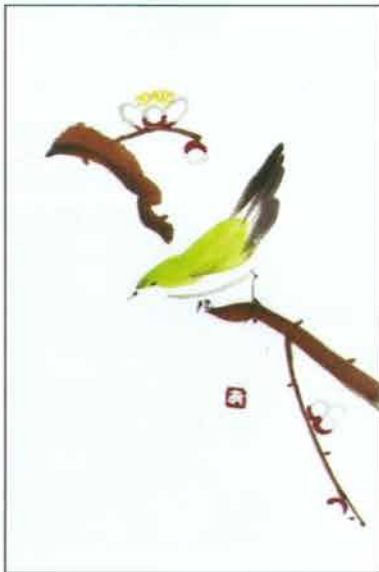
編集発行:さわやか北摂広報部 川西市水明台 1-2-49 TEL 072-792-3532

## 明るい未来を目指して

2020年、突如として現れた新型コロナウイルスは、当初想定していた以上に長期化している現状で、社会や経済、そして私たちの生活にも大きく影響しています。

福祉業界においても同様で、感染拡大防止に向けた様々な施策が講じられていますが、その影響は非常に大きなものになっており、2020年1月からの1年間で介護事業全体の倒産は、全国で100件を大きく上回る過去最高のペースになっています。今後も増える傾向です。

こうした状況下においても、やはりサービスが必要な方も多くおられます。感染リスクと隣り合わせで不安を感じながらも、献身的に利用者の介護やたすけあい活動に取り組んでくださるヘルパーさんや活動者さんに、心から敬意を表します。また昨年12月24日に川西市から、業務に当たっている介護職員に対し、感謝と激励を込めた贈り物が届きました。これは、市が寄付を募って行われた取り組みです。コロナ禍で心身ともに疲弊している職員にとって、どれだけほっとできましたことか。素敵なクリスマスプレゼントになりました。



則久 昭代 画

2020年は、世界中の人にとっても試練の多い年になりました。それによって一人ひとりの意識が変わり、生活が大きく変わりました。かたちあるものが求められてきた時代から、人と人との心のつながりがより大切とされる時代に変わっていく気がします。

ボランティア元年と呼ばれる阪神淡路大震災があった年の7月にさわやか北摂は生まれました。「謙虚なところ」「相手の立場に立つ」「思いやりのところ」「奉仕のところ」「感謝のところ」このさわやか北摂の五つのところを社是とし、今後も末永く困った時はお互い様の精神で活動を進めて参ります。

2021年は丑年です。「丑」に「糸」偏をつければ「紐」です。心とところを紐でつなぎ、「愛」と「感謝」の気持ちをもって、明るい未来を目指して共に生きていきましょう。

代表理事 高田 憲二

## グッドガバナンス認証のアドバンス評価を受けました

さわやか北摂の運営の適正化と透明性の向上のために「グッドガバナンス認証」にチャレンジしていることは前号でご報告した通りですが、このたび第一次審査（ベーシック評価）をクリアし、第二次審査（アドバンス評価）を9月24日に受けました。

「学びと創造」「市民参加と協働」「社会責任と信頼」「自立と自律」の4つの大項目から28の小項目について、さわやかの活動・取り組みに関する説明をしました。法人の運営や財務体制については課題が指摘されたものの、福祉有償運送事業における協議会への働きかけや行政との情報交換・連携については、他のNPOにとっても参考になるのでは、という評価をいただくことができました。最終評価はまだ届いていませんが、さわやかに関わる一人ひとりにとって自慢できる組織になれるよう、指摘された課題の改善に取り組んでまいります。

## 「運転・家事援助ボランティア『はじめての一步』説明交流会」を開催しました

認定NPO 取得アドバイザー 大島 一晃

さわやかの活動の根っこである「地域たすけあい活動」をもっと多くの人に知っていただきたいと願い、標記企画を9月30日に川西市市民活動・男女共同参画センターにて開催しました。当日は3名の方がご参加下さいました。

高田理事長と久恒会長からさわやかの25年の取り組みの歴史とその思いについての話から始まりました。介護保険では対応できないような「ちょっとした困りごと」に寄り添える人があふれるまちづくりを目指した取り組みとして、たすけあい活動が紹介されました。その精神は「困った時はお互いさま」。活動に責任をもって取り組んでいることの証として「有償ボランティア」として取り組んでおられます。

今回参加された方は、東谷地区で地域助けあい活動を行いたいと考えている地域住民の方々でした。高齢化が進むまちで、高齢者の「移動」をどう確保するか？ 福祉有償運送のドライバーとして活動するための必要条件は？ 活動者も高齢化しており、若い人が関わりやすくするためにどう働きかけていくか？ ボランティアと利用者のマッチングはどう工夫していくのか？ といったテーマで意見交換を行いました。

住民の暮らしを支える取り組みには「継続性」が求められます。「困った時はお互いさま」として小さなSOSを気軽に発信でき、受信する人が同じ地域にいる”助けてコミュニケーション”が当たり前になるまで、地道に取り組みを継続していくより他ありません。さわやか北摂がこれまで蓄積してきたノウハウを提供することで地域づくりに寄与していくとともに、よりいっそう地域・行政に働きかける必要性を痛感した1日になりました。これからもこのような市民向け交流説明会を開催していきたいと考えています。

(NPO 法人 場とつながりの研究センター理事)



ざぼんの手入れも大忙し  
去年は不作でしたが  
何とか間に合いました

## NPO 法人さわやか千の里〈令和3年度〉第1回理事会の開催

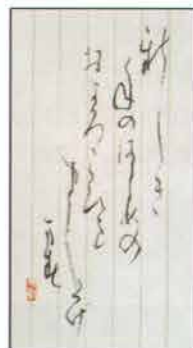
日時：1月21日（木）水明台事務所

出席者：高田憲二、久恒千里、佐野隆二郎、中谷雄吉、本田 圭

大島一晃（認定NPO取得アドバイザー）、秋山雅一（行政書士）

議事：報告事項は高田議長より説明があり、コロナ禍での事業活動の現状について報告された。審議事項については、役員報酬は規定通り一切支給しないが、旅費等の実費については支給することができる。各種の改廃は理事会の決議により行う。

認定NPO法人さわやか千の里の申請書類については、引き続き本田圭氏と秋山雅一氏にお願いした。令和3年度の活動計画書も賛同され、車両の共同運行に関する覚書も理解され、確認されて無事終了した。



山田澄香さんの書

### 特別寄稿

### 「NPO法人さわやか北摂」の頑張りに拍手!!

大西 良太



年も明けはや二月も半ばにならんとする今、さわやか北摂はそろそろ会報を出さなければと心が騒いでいるところかも。しかし、昨年出版したNPO法人さわやか北摂節目の25周年記念誌が既にその役目を果たしている。そして、よくよく考えてみれば、おおよそ26年前も今も会の性格は何ら変わっていない。相も変わらずボランティア団体なのだ。たすけ合いの会だ。活動者の皆様には改めてこのことには自信を持って日々の活動に精を出していただきたい。

今日は移動について考えてみることにしよう。さわやか北摂は発足当時から現在に至るまで移動困難者に対し助け合いによる移動サービスを提供してきた。生活支援の中には当然移動支援も入る。道路運送法に基づく福祉有償運送を実施するのみならず、少しでも地域の移動困難者の一助になるよう福祉有償運送運転者講習（国交省認定）も行い、平成29年より現在まで54名の安全運転者も育成した。坂の多いまちでもこれからはますます独居高齢者が増えてくる。この問題解決策として福祉バス等の充実もあるが「ドア ツー ドア」を考えると福祉バス、ダイヤモンドバス、福祉タクシー等だけではおのずから限界がある。私たちはともすれば移動と言うと制度に基づく福祉有償運送や、交通空白地有償運送を念頭に置いてしまうが、さわやか北摂は自立支援の特効薬は、安全で安心なまちづくりをすることだと考えている。いま一度、発足の原点に返り移動困難者の移動をしっかりと考えていきたい。要介護者だけが移動困難者ではありません。この問題はいずれ私たちに覆いかぶさってくる問題です。

（NPO法人全国移動サービスネットワーク理事）

（法務省人権擁護委員）

## ドライバーさんのひと言

### 「さわやからしさ」を目指して

種田 義男

私が会社勤めの時は、父母の平日の通院などの送迎にも苦勞をしておりました。そしてリタイア後こういった経験が「さわやか」で活動するきっかけになったと思います。

活動を始めて2年ほどになりますが、やはり移動する足を無くして不便を感じておられる利用者さんが多くおられることを知りました。そしてその中には、子供達には迷惑をかけたくないと言われる方もおられます。

今の時代「高くても良い」のは当たり前ですが、私は安く利用できて、しかも心遣いもよいと感じていただけることを目指して努力していきたいと思っています。

やがて自分自身も歳を重ね支えられる側になった時、支援者に何を期待するかを考え、いつしか「さわやかさんにしか無いサービス」と言ってもらえる様、日々活動を続けていけたらと思います。  
(助けあい活動者)(デイサービスドライバー)



1月12日、5センチの積雪  
車も地面も早朝の初雪でした。

### 送迎ドライバーの生きがい 池田 裕二

送迎ドライバーとして、さわやかさんにお世話になって約半年になります。こういったボランティアなお仕事は初めてであり、最初はとまどいもありましたが、同じ送迎ドライバーの諸先輩方のご指導のお陰でなんとかサマになってきたように思います。デイ主任さんのお力添えも大きかったです。

ご利用者様の送迎や諸々のお手伝いなどで接していくうちに「いつもありがとうね!」「気を付けてね!」といったお声がけをしていただけるようになったことが、嬉しくもあり、はげみにもなり、ご利用者様のお役に立てているのかな、と実感することが出来ます。

これからもご利用者様に喜んでいただけるように、安心・安全運転を心掛けたいと思います。

(デイサービスドライバー)

### 障がい福祉サービスの現場から

加藤 洋二

さわやか北摂での障がい福祉サービスでは、障害のある方が自立した日常生活を営む事ができるよう居宅での介護サービス、通院の介助、移動支援、同行援護等、多くの利用者様にサービスを利用して頂けるよう多岐にわたってサービスを行っています。

先日は視覚障害のある利用者様のグラウンドゴルフへ、同行援護のサービスに行きました。プレーを援助しながら一緒に楽しみ、楽しい時間を過ごさせていただきました。

一方で、昨年からのコロナ禍の事情もあり密閉・密集・密接と三密を避ける為に制限されるサービスも少なからずあります。例えば、障がいのある方と一緒に外出する「移動支援サービス」などはコロナの関係で外出しにくいいため、楽しみのサービスが減っているのが現状です。感染防止対策の徹底、利用者様と介護士自身の健康状態にも留意し、利用者様の生活に必要なサービスを継続して行える様に、また信頼関係をより築ける様に努力して、サービスに取り組みたいと思っています。  
(サービス提供責任者)

## ♥ デイサービス利用者さんへ インタビュー ♥

K.Yさん (94歳女性)

久 恒 デイのお風呂を気に入っていただいているそうですね。

K.Yさん まずシャワーできれいにして頂いてから特殊浴槽に入れてもらいます。朝から温かいお風呂に入りその後30分ぐらいベッドで休ませてもらい生き返った感じです。

久 恒 週に何回ご利用でしょうか。

K.Yさん 週に3日ですが、親切にもらって安心して過ごせます。1回ずつ新しいお風呂に入れてもらい、最高に気持ちがいいです。

久 恒 何年来ていただいていますか。他事業所もいわれましたか。

K.Yさん さわやかさんは丸5年です。以前行っていたお泊りデイは大きな所だったのでお風呂は大浴場でした。私は特にこちらのお風呂が大好きです。



2018年に導入した特殊浴槽で、利用者さんに大好評です。入りやすいし、気持ちいいし、と。

M.Oさん (94歳女性)

久 恒 ご利用はいつからでしょうか。

M.Oさん 約3年弱です。主人が2年前に亡くなりましたが、その時のケアマネさんから教えていただき来るようになりました。娘が比較的近くに住んでいるので心丈夫です。

久 恒 週に何度来ていただいているのでしょうか。

M.Oさん 週3日です。こちらのスタッフさんは利用者の気持ちを实によくわかっていただけ、ありがたいです。

久 恒 昼食はいかがでしょうか。さわやか弁当は野菜料理をできるだけ多くしています。親切な方々が、無農薬有機栽培の自家製野菜をよく届けてくださいます。野菜に甘みがあるので、料理もおいしくなります。長年のご支援に感謝いっぱいです。

M.Oさん 野菜が多いのは嬉しいです。外食すると日本の食材だけではないのでしょうか。

久 恒 なぜか世界中から輸入されていますね。消毒や化学肥料も使われているでしょうから、うちでは安全第一でやっています。

### 障がい福祉サービスの現場から

竹端 希功義

さわやか北摂に入って、初めて障がい者のサービスに携わりました。

以前は高齢者施設に勤務していた為、高齢者の方との接し方や介助の仕方などは、ある程度理解していましたが、身近に障がいのある方と接する機会がなかったため、初めてサービスに携わった時は緊張の連続でした。障がいサービスは、知的障がい、身体障がい、難病の方など様々な障がいを抱えた方々へのサービスなので、その方に応じた接し方があります。会話一つとっても発語が難しい方などは、相手の方の伝えたい事がなかなか解らず、苦労した事も多々ありました。改めて一緒に暮らしておられる家族の方のご苦労を感じます。

微力ではありますが、少しでも利用者様とご家族様の助けになればと、日々頑張っサービスに励んでいます。

(サービス提供責任者)

# 健全な社会を目指す活動

2021年 NEW YEAR MESSAGE

## 地域の居場所、助け合いの場で



特定非営利活動法人 さわやか北摂

会長 久恒 千里

おめでたい筈の新年度、どちらを向いてもコロナウイルスの話ばかりです。道行く人の立ち話すら3日ぶりに外へ出た、とか。世界中に広がる災いが早く収束するのを願うばかりです。

定年退職後の生きがい「人のお役にたきたい」と、会員になってくださった方々の出番を狭めていきます。

一方で、高齢者社会を支えあう動きも全国に広がっています。当地でも市が主導して、オンラインドモビリティという、小回りの利く移送サービスの実証実験を始めようと計画しています。全国的に広がっています。実験の二カ月

が過ぎて尚続いているのは、ほんのわずかとか。既存のバス会社や定期的な難しいことと思われま

当団体は、この夏から26年目の活動となります。昨年夏には25周年記念誌を発行し、長い間支えてくださった皆様へのお礼とさせていただきます。

阪神淡路大震災の夏に立ち上げてから、同じ年月を過ごし、地域の居場所、助け合いの場として歩んできましたが、今後も地域の皆様のお役に立てるよう改めて気を引きしめた新年でした。昨年認定NPO法人申請のために、100名の

### 就職支援面接会参加

市と伊丹公共職業安定所が主催する介護職への就職支援「HOT ジョブミーティング」が1月15日(金)にアステ市民プラザで開催され、当団体も参加しました。コロナ禍での開催のため、面接希望者は今回のみ事前予約が必要でした。限られた時間の中で3名の方と充実した面接ができました。

寄付者が必要と聞き、「つうしん」にてお願いしましたところ、200名もの方々からご寄付を賜り、感謝、感謝の嬉しい年でした。今後共、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

### 「支え合っていく」

さわやか北摂理事 山根 佳子

さわやか北摂は、家庭的な雰囲気、そこには血のつながりは関係なく共に生活する絆があります。そして一人ひとりが大切にされ、スタッフの皆さんの愛情の深さを感じます。

忙しい中で相手によりそう前向きな姿勢があり、時には利用者さんの問題行動に対しても、しっかり向き合っていく熱意と情熱をいつも感じています。

毎日の暮らしの中で利用者さんの声に耳を傾け、何をやりたいのか、どんな風に行きたいのか、希望を実現するために努力していくこと、共に生きる姿勢を忘れない姿こそ一番大切に嬉しいことです。

障害があってもなくても、病んでいる人も元気な人も、お互い支え合って生きる社会の実現こそ、本当の社会福祉だと私は思っています。

(社会福祉士)

「認定 NPO 法人」取得の為に協力いただいた方々のご芳名  
 (1口3千円以上のご寄付、令和2年9月25日~令和3年1月30日、アイウエオ順・敬称略)

浅野 裕香 岩崎 淳子 上田 弘文 植田 寛昭 上野 瞳 浦上 尚子 太田 康子  
 小田切ヨシ子 梶原 幸一 神先貴美子 栗田 靖子 小井 陽子 妹尾 静枝 高橋 節子  
 瀧本 浩成 田中 利史 田中 利充 鳥羽 恭平 中村 光恵 西村 和子 西山 邦子  
 西山 登 二森心み子 野田登代子 秦 久美子 福井 稔 福久 幸子 三木喜久代  
 三宅美智子 三好 利夫 山口 誠子 山田 澄子 (高額なご寄付の方も含まれています)

## さわやかデイサービス あれこれ



デイの皆さんで合作した丑年飾りの壁掛け  
 今年もどうぞよろしくおねがいします。  
 ウシシシ……



節分の豆まき風景  
 赤鬼 青鬼めがけて オニは外！  
 ポール豆を思い切り投げました 福は内！！



大王松と千両でお出迎え



さわやかデイの梅の花弁当



正月用干し柿作り  
 大きなジロウ柿でした

## 活動実績

	たすけあい		訪問介護	障害者支援	デイ利用者
	家事介助 (件)	移動介助 (件)	(件)	(件)	(延人数)
2020年 9月	158	419	1,216	653	334
10月	163	485	1,238	701	334
11月	160	380	1,176	665	300
12月	160	405	1,129	637	278
2021年 1月	118	328	984	624	270

### ◆ さわやか北摂のコロナ対策 ◆

事務所の玄関を受付カウンター式に変更したことで、主な用事ごとを玄関先で終了できるようになりました。

また、消毒液を各出入口に設置し、事務所内に入室が必要な時は「手洗い」「検温」「入館記録」をお願いしています。

その他、新たに非接触式体温計3台と空気浄化システム・レスパー2台を導入するなど、助成金を活用してコロナ対策が強化できました。

安心してお越しください。



〇さんご夫妻は2か所の畑で野菜作りをされています。いつも沢山のお野菜をいただき助かっています。写真はひょうたんかぼちゃ3兄弟！それぞれ個性豊かに光っています。

さわやか北摂のホームページは3月上旬頃リニューアル公開予定です。

さわやか千の里のホームページは4月上旬頃公開予定です。



藤川 あずさ（事務スタッフ）  
地域の皆様が生きていきと生活できる環境づくりをお手伝いしたいと思っております。わからない事だらけですが毎日元気に頑張ります。



早水 士郎（サービスマン提供責任者）  
障がい支援に携わり、約10年が経ちました。居宅介護の仕事は初めてで戸惑うこともありますが、利用者様のお役に立つことができるよう頑張っていきたいと思っております。

### ◆ 新スタッフ紹介 ◆